様式Ⅳ－３－①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（イノベーション創出強化研究推進事業）

特許権等 出願通知書（国外出願）

平成　　年　　月　　日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター　所長　殿

（通知者）

研究機関名：出願等を行う委託先の研究機関名

代表者名　：上記研究機関代表者の役職名と氏名　　　　　公印

平成○○年○○月○○日付け委託契約（変更契約している場合は「（○年○月○日変更契約）」と付記する。）に基づく下記１項記載の委託試験研究の成果として得られた下記２項記載の特許権等を国外において出願又は申請したいので、（コンソーシアム方式の場合は「代表機関を通じて」を追記。）事前に通知します。

１．本報告に係る委託試験研究の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | ○○○○○○○事業 |
| 試験研究計画名 | ○○○○○○〇 |
| コンソーシアム名、代表機関名・代表者名、研究統括者名 | コンソーシアム：コンソーシアム方式でない場合は記入不要。代表機関・代表者：委託契約書の「代表機関名・代表者名」を記入する。研究統括者：××大学　○○太郎 |
| 試験研究の実施期間 | 平成　　年　月　日　～　　年　月　日　原契約書の委託期間を記す。 |

２．登録出願した特許権等

|  |  |
| --- | --- |
| 出願国 |  |
| 特許権等の種類 | 特許権 ・ 実用新案権 ・ 意匠権 ・ 育成者権 ・ その他（　　　　　　　） |
| 発明考案等の名称 | 英文　：○○○和訳文：○○○ |
| 発明者（共同発明の場合は全発明者を記入） | 発明太郎　××大学××研究室発明花子　××研究所××解析室（第三者）←委託先又は構成員以外の者である場合は「（第三者）」を明記。 |
| 出願人（共願の場合は全出願者名を記入） | ××大学××研究所（第三者）← 委託先又は構成員以外の者である場合は「（第三者）」を明記。 |
| 優先権主張 | 有 ・ 無　どちらかに○を記す。「有」の場合は以下に詳細を記す。発明考案等の名称：出願番号：　　　　　　　　　出願日　：西暦で記載。出願人　： 外国出願の出願人と同一の場合のみ「同上」と記す。 |
| 外国出願する理由 |  |
| 代理人 |  |
| 特記事項 | （共同出願契約の有無等を適宜記入する。） |

３．注意事項

（１）国外で発明が公開されることによって、国内の農林水産・食品事業の競争力の維持に不利益を与える恐れがないことを出願前に確認して下さい。

（２）共同出願を行う場合

共同出願等を行う前に、共同出願契約書等の写しを（コンソーシアム方式の場合は代表機関を通じて）生研支援センターへ提出して下さい。
当該共同出願契約書は、委託契約書との関係を明らかにするとともに、委託契約書が定めた守秘義務及び特許権等の取扱いに係る規定を優先することを規定して下さい。

（３）委託先（以下、コンソーシアム方式の場合は構成員）以外の第三者と共同出願する場合

① 委託先は、第三者を共同出願人に加える必要性を示す「第三者を共同出願人に加える理由書」（様式任意）を作成し、本通知書に添えて（コンソーシアム方式の場合は代表機関を通じて）生研支援センターへ提出して下さい。

② 委託先は、第三者との間で下記要件を満たす共同出願契約書を出願等を行う前までに締結するとともに、同契約書の写しを（コンソーシアム方式の場合は代表機関を通じて）生研支援センターへ提出して下さい。
・ 委託先と第三者との特許権等の持ち分を峻別している。

・ 委託契約書との関係を明示し、委託契約書における秘密の保持及び特許権等の取扱いに係る規定について委託先を第三者に読み替えて適用することが規定されている。
または、共同出願契約書若しくは共同出願契約書に付随させる覚書等において、委託契約書との関係を明らかにするとともに、委託契約書が定めた守秘義務及び特許権等の取扱いに係る規定を優先することを規定している。

なお、コンソーシアム方式の場合は、第三者との共同出願することについて、他の構成員の同意をあらかじめ得て下さい。

（４）本事前通知を経て、出願等を行った場合は出願等を行った事を証する申請書、登録書等の写しを遅滞なく提出して下さい。